

話し合いの約束

- ・ 他人を傷つける発言をしない。
- ・ 多くの方の声を聞くために、短く話す。
演説をしない。
- ・ 発言を最後まで聞く。

第1回フォーラムを振り返って

- ・ 受け入れ前提の協議とは

「受け入れ前提」 = 本町の協議方針

「協議」 = JR東海の発生土置き場計画の合理性、安全性の確認

※ 現時点で町が受け入れを決めたというわけではない

- ・ フォーラムの目的について

JR東海の発生土置き場計画の詳細説明を聞き、「将来に亘り安全か」や「対策は十分か」などの懸念を有識者の専門的助言をい
ただきながら、公開の場で確認・解消していくことが目的

フォーラムの位置づけについて

【御嵩町】

- ・受け入れを前提に協議に入ることを決定
(理由については第1回フォーラム資料のとおり)

受け入れを前提に協議に入る

- ・JR東海からの詳細説明を受け、安全性を確認していきたい
- ・有識者からの助言を受けながら安全性を確認していきたい

フォーラムを通じて安全性の確認

第1回目はここに終始する結果に・・・

【町民】

- ・受け入れを前提とする理由の説明がない
- ・なぜ決める前に住民に説明をしなかったのか
- ・安全なものしか受け入れないではなかったのか

なぜ??

- ・希少動植物の保護についてどう考えているのか
- ・封じ込め工法の安全性、盛土の安全性は大丈夫なのか
- ・監視方法や事故への対応は

など

一方、具体的に安全性を心配する声も

フォーラムでの目的は町民も町も同じ

安全性の確認

【有識者】

専門的助言

- ・JR東海の説明に対する補足
- ・町、町民の疑問点について補足
- ・専門的見地から中立の立場で解説・提案

安全性の説明

【JR東海】

- ・発生土置き場計画の詳細説明
- ・町、町民からの疑問点、意見について回答
- ・有識者の見解を聞きながら計画への反映を検討

フォーラムの枠組み

本町へのご質問・ご意見について

第2回から第5回までのフォーラムを終え、JR東海の説明を確認した後に再度、皆さまから本町へ対するご意見を伺う場を設けます。

まずは、フォーラムを通じてJR東海からの詳細説明を確認し、計画内容を把握したうえで、改めて皆さまからのご意見をいただきたいと考えています。

○第6回フォーラムの開催について（予定）

と き：令和5年1月末頃

場 所：中公民館

内 容：第1部 第1回～第5回フォーラムのまとめ
第2部 町と町民との意見交換